

常磐開発グループ JK カップ 第 4 7 回福島県 U-1 1 サッカー交流大会

実施要項

- 1 趣 旨 サッカー競技を通じて健全な心身の育成を目指すと共に、県内少年団の交流・親睦・技術の向上を図る。
- 2 主 催 一般財団法人 福島県サッカー協会
- 3 共 催 常磐開発株式会社
- 4 後 援 いわき市
- 5 主 管 一般財団法人福島県サッカー協会4種委員会、NPO法人いわきサッカー協会
- 6 日 程 2025年1月12日(日)・13日(月祝)
- 7 会 場 新舞子フットボール場 人工芝ピッチ A・B 2面・クレーパーピッチ A・B 2面
- 8 参加資格 (1) 大会実施年度に一般財団法人福島県サッカー協会を通して公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」という)第4種に登録した団体(チーム)であること。登録した団体からの複数チームの出場も可とする。
(2) 前項のチームに所属する小学5年生以下の選手であること。
(3) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。
(4) 参加チームは傷害保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入していること。
(5) 県大会出場チームはWEBエントリー期間内にエントリーを完了していること。
- 9 チーム構成 (1) チームの編成は、引率指導者10名以内、選手16名以内とする。
(2) 引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。

- (3) 複数チームエントリーする場合、監督・コーチは重複可とする。
- (4) 大会当日、ベンチ入り指導者を2名迄追加可とする。ただし、指導者のエントリー枠10名の範囲内とする。また、エントリー済みの指導者全員が不在での当日2名追加は認めない。(必ず1名はエントリー済みの指導者が当日ベンチに入ること)

- 10 審判 (1) 審判は1人の主審と2人の副審と第4の審判が指名される。
- (2) 各チーム、審判を2名帯同すること。
- (3) グループ優勝決定戦は本部派遣にて行うが、他は全て帯同審判員で行う。

- 11 参加費 2024年12月23日(月)までに¥10,000円を指定口座へ振り込みをすること。

東邦銀行 大槻支店 普通379919

一般財団法人 福島県サッカー協会 会長 青田 由広

- 12 組み合わせ 一般財団法人福島県サッカー協会4種委員会で決定する。

- 13 大会形式 (1) 地区大会を勝ち抜いた24チームによって実施する。
- (内訳：県北6、県南7、会津3、相双2、いわき6)
- (2) 24チームを3グループに分け、さらに1グループ(8チーム)を2ブロックに分けて4チームによる予選リーグ後、同順位によるグループ順位決定戦を行う。
- (3) 予選リーグの順位決定は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点合計の多い順に決定する。但し、勝点合計が同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。

- 14 競技者の数および交代

- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- (2) 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- (3) 試合開始前の1チームの競技者の最少人数は6人以上とし、試合中いずれかのチームが6人未満になった場合、試合は続けられないものとし、次のとおりとする。
 - ア 予選リーグは、当該チームを同リーグ内1試合の最大得失点差にて敗者とする。

イ 順位決定戦は、当該チームを0－3の敗者とする。

15 競技規則 J F A制定「8人制サッカー競技規則」に準ずる。

但し、以下の項目については大会規則を定める。

(1) 試合時間は40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。

(2) 規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は次のとおり。

ア 予選リーグは、引き分けとする。

イ 順位決定戦は、PK方式により勝者を決定する。但し優勝決定戦は10分(5分ハーフ)の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はPK方式により優勝チームを決定する。尚、延長戦に入る前のインターバルは5分、PK方式に入るまでのインターバルは1分とする。

(3) ベンチに入ることができる人数は、指導者2名以上5名以内、選手16名以内とする。

(4) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度1名の指導者が伝えることができる。

(5) アディショナルタイムの表示については実施しない。

(6) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。

(7) 本大会に参加する選手は、J F Aの発行した選手証を持参しなければならない。但し写真登録により顔の認識ができるものであること。不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。

※選手証とは、J F Aweb登録システム「K I C K O F F」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。

(8) ピッチサイズは原則次のとおり推奨する：縦68m・横50m・ペナルティエリア12mゴールエリア4m・センターサークル半径7m

(9) ゴール： ゴールの内り縦2.15m、横5m

(10) ユニフォームはWEBエントリーにて登録したユニフォームを着用すること。

ただし、ユニフォーム(ゴールキーパーを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものとする。

また、フィールドおよびゴールキーパーの正・副2組のユニフォーム(計4組)の色は、明確に異なる色にする(同系色または類似色にしない)こととし、チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。選手番号については1～99を使用し0は認めない。

- (11) 大会期間中、異なる試合において警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
- (12) 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
- (13) 中断及び対応について：試合中、降雨・雷の際は大会本部の判断で中断する。

再開方法は中断から20分様子を見て、再開が難しい場合、前半終了前はスコアに関係なく再試合とする。前半終了後は、同点の場合はトスにて次回戦進出チームを決定し、得点に差がある場合はそこで勝敗を決する。

- (14) ソックスにテープまたはその他の材質のものを外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (15) アンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの色はチーム内で同色を着用する場合はその色を認める。

16 懲 罰

- (1) (一財)福島県サッカー協会理事会の決定に基づき、常磐開発グループ JK カップ第47回福島県U-11サッカー交流大会に大会規律委員会を設置し、(一財)福島県サッカー協会規律・裁定委員会は(公財)日本サッカー協会の懲罰規定第3条(以下、懲罰規定という)により委任された所管する懲罰権の一部を懲罰規定第25条に基づき当該大会規律委員会へ再委任する。
- (2) 前項の再委任の範囲は、戒告、譴責及び1試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。
- (3) 委員構成

委員長：(一財)福島県サッカー協会 渡辺正一規律・裁定委員会委員長

委員：四家孝幸、芳賀俊彦、高田幸子、馬目茂樹、佐藤郁、
山幡義行、根本豊、林雄一、小野直樹、三浦儀彦、
星克則、坂本秀行、鈴木勉、青山貴大、木田正人

17 表 彰

グループ優勝(3チーム) 賞状、トロフィー、メダル
グループ準優勝(3チーム) 賞状、トロフィー、メダル

※2025年3月22日～23日に宮城県で開催する第48回宮城県サッカースポーツフェスティバルへ優勝3チームを推薦する。

(優勝チーム辞退の場合は、FA4種委員会で推薦チームを決定する)

18 開 会 式

実施しない。

- 19 閉会式 表彰対象チームのみの参加とし、各決勝戦終了後に順次表彰式を行う。
- 20 監督会議 大会初日 8：30 より人工芝ピッチ本部前にて行う。
- 21 参加申込 各地区予選毎に定められた期日までにWEBエントリーを完了すること。
- 22 その他
- (1) 会場により人工芝・クレーと状況が異なるので、使用制限・立入禁止区域など会場責任者の指示に従うこと。
 - (2) 宿泊及び弁当については、「たびごこち」に依頼しましたので、別紙により直接申し込むこと。
 - (3) この大会は冬季開催のため、試合当日に悪天候（降雪など）の影響で開催できない場合も想定されます。その際、大会参加費の返金はできませんので予めご了承ください。また、宿泊先からのキャンセル料が発生する場合がありますのでご承知ください。（宿泊チーム負担となります。）